 5月号の主な内容

|  |  |
| --- | --- |
| 3 | 大崎地域を世界農業遺産へ Vol.11  市長コラム 天地人 |
| 4 | あなたのチカラを必要としています！  大崎市消防団 新入団員募集 |
| 6 | 子どもたちを見守り続けた142年  思い出を胸に鹿島台第二小学校閉校 |
| 7 | おおさきコワーキングスペース  「alata」(あらた)オープン |
| 8 | 十年物語　～おおさき人の軌跡～  　宮城県古川農業試験場場長　永野 邦明（ながの　くにあき）さん  　シナイモツゴ郷の会理事長　二宮 景喜（にのみや　けいき）さん |
| 9 | 大崎市が進める地方創生①  おおさき婚活支援センター |
| 10 | 市政トピックス　４月の主な出来事 |
| 11 | 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち |
| 12 | オオサキプレイガイド |
| 14 | 危険ブロック塀などの除却助成事業 ほか |
| 16 | 今月のお知らせ |
| 26 | 子育て支援情報 |
| 27 | 育児相談・乳幼児健診 |
| 28 | 休日当番医　ほか |

今月の表紙

4月１日、松山子育て支援総合施設「あおぞら園」の開園式が行われました。

　入所する親子や地域の皆さんが見守るなか、３組の入所児童代表の親子と伊藤市長、佐藤市議会議長によるテープカットで開園を祝いました。

　あおぞら園は、市内4つ目の子育て支援総合施設で、保育所と幼稚園がそれぞれに担ってきた機能を同じ施設、同じ教室で一貫して行います。また、一時預かり保育や子育て支援センター機能も兼ね備え、松山地域における子育ての拠点機能を担います。

　木造平屋建ての地元産木材をふんだんに使ったあたたかみのある内装と、青空に映える5色のカラフルな建物が目印です。

　「げんきな子ども」、「やさしい子ども」、「かんがえる子ども」を保育方針に、地域の自然環境や伝統文化を生かしながら、家庭や地域と連携し、健康で心豊かな子どもたちの育成を目指します。

１　テープカットで開園を祝いました

２、３　この春卒園した子どもたちによる、可愛らしい踊りや勇壮な舞も披露されました

４　４月からあおぞら園に入所する子どもたちも元気な歌声を響かせました

大崎地域を世界農業遺産へ

Vol.11 里地・里山の保全と大崎耕土の恵み⑦「寒冷地での農業に息づく伝統野菜」

【問い合せ先】産業政策課世界農業遺産推進室 23-2281 sangyo@city.osaki.miyagi.jp

大崎耕土では、一大品種である「ササニシキ」「ひとめぼれ」など、日本を代表する米が育まれ、これら良質な米の味を引き立たせるような数多くの食材が生産されてきました。特に、味噌や醤油の原料となる大豆の栽培が盛んですが、地域には、古くから伝統的な野菜も受け継がれてきました。

　大崎地域の伝統的な野菜として、「小瀬菜（こぜな）大根(加美町)」や「高城（たかぎ）ごぼう(色麻町)」、「上伊場野（かみいばの）さといも(三本木地域)」、「鬼首菜（おにこうべな）(鳴子温泉地域)」などがあります。いずれも栽培されている地域の名称を冠（かん）しており、その地で栽培することで独特の風味や食感を生み出すと言われています。

　加美町の小瀬菜大根は、「幻の大根」と言われています。標高が高く寒冷であり、湧水に恵まれた小瀬地区で栽培することで、みずみずしく、やわらかな葉に生育すると言われています。汁の実や漬け物など、冬の食として脈々と受け継がれてきました。

　これらの伝統野菜は、地域の気候と土壌に適応し、漬物などの発酵食品への加工や土中保存など、厳しく長い冬の保存食として、重要な役割を果たしてきた大切な作物です。

　人々の暮らしを支える伝統的な野菜の遺伝資源は、農業者の暮らしの中で継承され、大崎耕土の豊かな食文化の要となっており、未来へ伝えたい大崎地域の大切な宝です。

市長コラム　天・地・人

合併10周年・新時代への飛翔

「シンク・グローバリー、アクト・ローカリー（＝世界的な視点で考え、地域的に行動せよ）」と言う格言があります。その視点で見ると、この度の北海道新幹線開業は、北海道、東北における新時代の幕開けを象徴する出来事でしょう。

　本州と北の大地が新幹線でつながり、東北と北海道が一体になることにより、日本の新しい拠点「ほくとう」が形成されます。

　世界地図を広げてみましょう。北半球の主な都市は、東北・北海道と同緯度に位置しています。グローバル化やインバウンド（外国人観光客の誘致）が進む時代、「ほくとう」が地理的有利性を発揮すれば、世界的なヒトとモノの流れの要衝になり得ることを示しています。

　また、「ほくとう」地域に、仙台・札幌という二つの大都市が併存することになり、多種多様な分野へ相乗効果を生む可能性が出てきます。

　さらには、東北と北海道が持つ魅力をより強くアピールできる相乗効果もあります。東北のほのぼのとした風土と人間性、北海道の雄大な自然と開放感。これらが融合することで、首都圏や西日本では決して味わえない「ほくとう」ならではの暮らしや真の豊かさは、新たな価値観を生むことでしょう。

　その中で、わが大崎は、新幹線が走り、東北地方の「へそ」的位置にあって、日本一の渡り鳥の楽園、温泉番付東の横綱、食材王国の首都でもあります。

　北海道新幹線の開業により、東北と北海道がつながることは、わたしたちの地域にも無限の可能性や新たなチャンスを与えてくれるはずです。自信を持ってチャレンジしていきましょう。